

5/25
2011年第1075号
(毎月5、15、25日発行)

被災会員支援へ新たに救援募金

東日本大震災 地域医療の一刻も早い再建を

被災住民支援の募金1千万円超
ご協力ありがとうございました

東日本大震災の痛ましい犠牲となった方々に慎んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

大阪府歯科保険医協会は、被災された皆さまの救済・支援のため、救援募金に取り組みまいりました。募金は、1023万5580円(5月6日現在)になり、岩手県、宮城県、福島県および茨城県の義援金口座に送金しました。ご協力に心からお礼申し上げます。

さて、大阪府歯科保険医協会では、救援募金の目的を被災会員の救済と診療機能の回復および復興支援のため、被災会員への救援募金に取り組むことにしました。1口5000円で、2口以上ご協力いただければ幸いです。募金は「特別会費」として税務上経費になります。お預かりした被災

会員への救援募金は、保団連を通して被災会員へ届けます。

被災会員への救援募金を会費と一緒に引き落とす方法でご協力いただけるとは、「被災会員救援募金口座引き落とし」承諾書(今号同封のハガキ)にご記入の上、ご返

被災会員への救援募金 必要経費になります

このたび皆さまにご協力を願っている被災会員への救援募金は、「災害見舞分担金に係る必要経費」の取扱い(上の税務上の必要経費に参入され



被爆科学者・沢田昭二氏が語る

テレビや新聞は外部被曝のことばかりを問題にし、内部被曝の深刻さを十分に理解していない。

「体の表面に付着した放射性物質は洗い流せば良い」などと説明しているが、空気中の放射性物質を吸い込めば内部被曝は避けられない。マスク

X線と異なる内部被曝

安易な比較許されない

をしていても、一定の大きさの放射性微粒子を防ぐだけだ。激しい運動や作業をすれば、それだけ多量に取り込むことにな

ックス線やCTなどの外部被曝とを比較している乱暴な報道である。体

原発汚染②

症は、薄い腸壁の損傷が原因だ。外部被曝の場合には、透過力の強いガンマ線だけが腸まで到達できる。しかし、高線量の場合には、腸壁を透過するガンマ線だけでなく、腸壁を傷つけることほなく、下

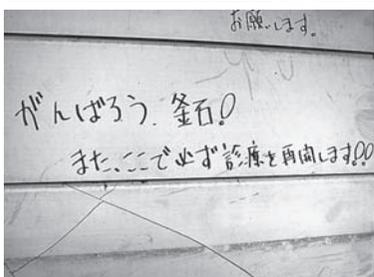
わりという姿勢は危険だ。内部被曝の場合は、症状が遅れて出てくる。原発事故で飛散している放射性ヨウ素は、体内に入ると甲状腺に蓄積する。甲状腺機能亢進症を引き起こし、甲状腺がんを

に、地盤の弱い内陸部に被害が見られた。(一関市や奥州市など)に被害が見られた。内陸部で被災しながらも、沿岸部の検死に携わり、津波と火災で成化した遺体など、約90体を診た歯科医は「遺体の姿を思い出すと、涙が止まらない」と語っていた。

被災院の多くは「沿岸部と比べたら」との思いが強く、控めに状況を語っていたが、テレビが映さないところにも被災地がある。医療機関の再建に直接役立つ見舞金が、いま強く求められている。

被災も医院再建に意欲

支援金の必要性を痛感



津波で流された歯科診療所の壁に残されたメッセージ(下)＝岩手県釜石市、一部加工しています

現地レポート

沿岸部の被災地は、生体インフラが揃っていない地域が残っている。道路脇にガレキが積みあがったまま、生活空間が確保されていない。また、科診療が始まっていた。

いと、地元での医療機関再建に意欲を持っている。被災した診療所の壁に「がんばろう釜石!」とメッセージを残した歯科医もいる。

現代人はもう妖怪なんか恐がらなくなった。だが生命科学の進歩で宗教の権威が減り、映像文化の大衆化とVirtual Realityが茶の間まで浸透してくると、死の恐怖や認識も人工的になる。「1007は二度死ぬ」のだから自分も錯覚するのだ。大震災を契機に科学や経済に振り回されないで形而上形而下の境界を超えた死と生の意義を考え

東日本大震災

復興プランが不透明で見通しも立っていない。その中でも、プレハブなどの仮設診療所が増え、災害医療である避難所診療所から医療再建に踏み出す地域が出てきている。釜石・大槌町医療圏では4月中旬から開設され始め、陸前高田市の高田第一中学校区では2日から、仮設診療所での歯科診療が始まっていた。

協会創立40周年記念企画
保険でよい歯科医療を大阪連絡会
市民講座・總會のご案内
6/12(日)、M&Dホール
□12:00~14:00
「正しい歯のみがき方」
□14:00~16:00
總會・市民講座「歯を大切に健康が花咲いた町」演者・山田兼三氏(元兵庫県南光町長)
※入場無料。後援:大阪府・大阪市
※お申し込みは協会事務局まで

歯界

家族は仲が良いの是一般通念で、日頃喧嘩ばかりしているのもあるが、年齢の順番を超えて若い者に先立たれるのは辛い事である。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)